



## 多様な学問の研究力強化の ための評価

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国立歴史民俗博物館  
後藤真  
>

## 人文・社会科学研究の特徴

2

- 共同研究と単独研究の両側面
  - (複数の成果を持ち寄る共同研究でも、資料を読めるのは一人)
- 言語に依存する研究が多い(「文字・言葉」そのものが研究対象)
- 研究のスパンの長さ
- 説明すべきことの「量」の多さ

# 現時点の研究評価で見えにくい部分は何か

- (もちろん分野によってことなるが)
- 1. 著書の位置づけ
- 2. 「単著」という考え方
- 3. 非英語による研究
- 4. 引用される文献の「寿命」の長さ



# 著書の位置づけ

- 人文・社会科学研究では、論文より著書の位置づけが高い分野が多い
- 世界的に主要な学術出版社 evaluationを行い出版する—社から著書が出たか」が非常

日本人とモンゴル人が、お互いに対等に平等な姿を創り出す方法を模索し、実践するNPO法人「モンゴル・パートナーシップ研究所」(略称MoPI+IC)が設立されています。こちらのサイトにもお立ち寄りください。

## 業績詳細

### 著書

- 2014 フィールドワーク叢書9『人類学書は草原に育つ 変化するモンゴルと私たち』 朝川書店 総211頁  
• [当該サイト](#) (外部)
- 2009 『エジプトに生きる母たちの生涯』 (モンゴル語) BIBLIOTHECA OIRATICA 総121頁
- 2005 『世界の異文化 (3) モンゴル』 (社) 泰山学術文化協会発行 総277頁  
• [当該サイト](#) (外部)
- 2004 『モンゴルの二十世紀—社会主義を走った人びとの証言』 中央公論新社 総254頁  
訳注 (原書刊行・2005年10月22日) (PDF: 297KB) /> [2005年10月10日](#) (PDF: 217KB)
- 2004 『遊牧民のくらし』みんぱく発見 (9) 千堂文化財団 総64頁
- 1999 『蒙古草原の生活世界』 (モンゴル語訳注) 内閣府出版局 総218頁
- 1996 『モンゴル草原の生活世界』 朝日新聞社 総228頁
- 1992 『モンゴル万華鏡—草原の生活文化—』 角川書店 総238頁
- 1992 『モンゴル風物誌—ことわざに文化を読む』 東京書籍 総190頁
- 1991 『モンゴルの書—人類学スケッチ・ブック—』 同出版新書社 総264頁

### 編著書

- 2016 SES92 『Northeast Asian Borders: History, Politics, and Local Societies』 国立民族学博物館 総205頁  
• [当該サイト](#)
- 2014 SER122 『精緻な美のモンゴル鏡—ローマ字カード集』 国立民族学博物館 総397頁  
• [当該サイト](#)
- 2014 SER119 『20世紀におけるブリヤット人たち—中蒙内モンゴル自治区フロンティアにおける口伝史』 (モンゴル語訳注) 日本語) 国立民族学博物館 総489頁  
• [当該サイト](#)
- 2014 『20世紀におけるブリヤット人たち』 (モンゴル語) モンゴル国立大学歴史学専攻 総235頁
- 2014 『ES96 『Diver People: Cultural Uniformity and Diversification』 国立民族学博物館 総277頁  
• [当該サイト](#) /> [JASIS/IS11](#)
- 2014 『アジアにおける博物館・博物館学の「いま」—モンゴル・ミュージアム・クリルタイ』 モンゴル国立文化遺産センター 総371頁
- 2013 『出版局朝報民族学研究所』 (モンゴル語訳注) 内閣府出版局 総212頁

## 人文・社会系著書の意義と受容

- また、人文社会系の著書が得る国内の賞も多くが著書を対象にしている
- あわせて、これだけ多数の日本語著書が賞の対象になっている→
  - 日本において日本語の人文社会系研究が社会に受け入れられていることでもある
- 日本全体の知的基盤形成に寄与するための日本語書籍

例(五十音順)

朝日大佛次郎賞  
 石橋湛山賞  
 大平正芳記念賞  
 樫山純三賞  
 角川源義賞  
 サントリー学芸賞  
 島田謹二記念学芸賞  
 司馬遼太郎賞  
 毎日出版文化賞  
 毎日新聞アジア太平洋賞  
 読売文学賞  
 読売吉野作造賞  
 和辻哲郎賞



## 対象国研究の対象国語成果への評価

- 日本史学における最高の研究は日本語で行われている
- 地政学的な問題に加えて
- そもそも、日本の昔の資料を英語に翻訳するどころかローマ字にすることも難しい→研究そのものが言語依存(ex:後藤とアメリカの日本史研究者のやり取り)
- これは、日本語だけの問題ではなくドイツ語やフランス語でも同じ状況
- 「自国語でいかに研究ができるか」は先進研究国のメルクマール  
(もちろん、英語での接続ができることは前提)



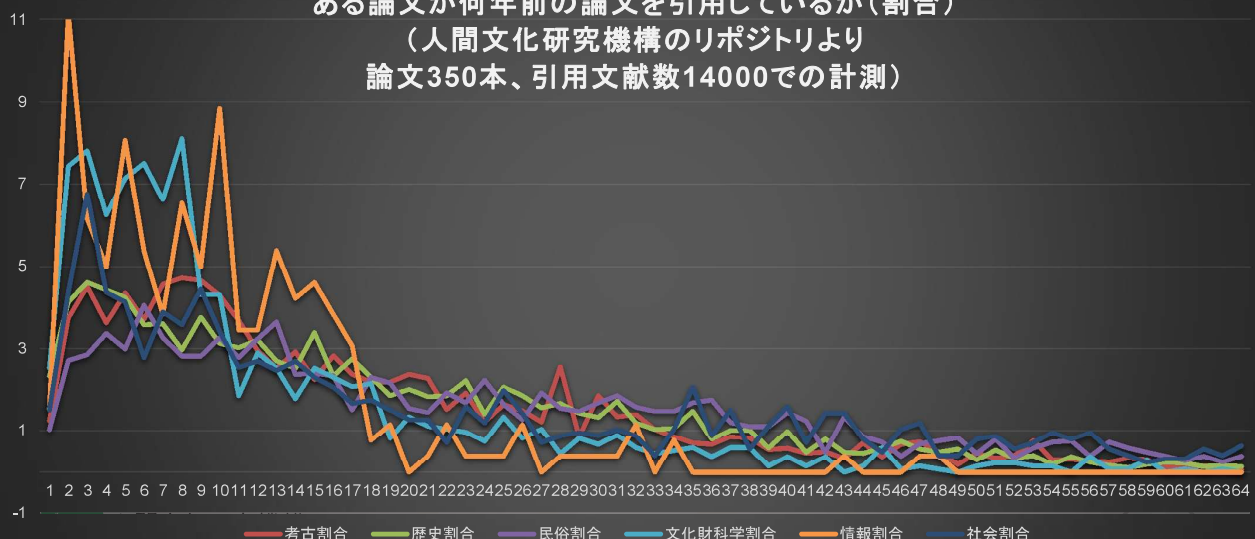
- 日本資料等に関する協議会などではヨーロッパ開催でも英語と日本語が主たる使用言語

program	
list of speakers and abstracts	
<b>Wednesday 14 September</b>	
08:30	Registration
09:50	Opening
<b>Session 1</b> chair: Willy Vande Walle	
10:30	<b>Koyama, Noboru</b> (Retired from Cambridge University Library) English The development of resources for Japanese studies : from kokugaku to Japanology 日本研究資料の歩み : 国学から日本学へ
11:15	<b>Shchepkin, Vasilii</b> (Russian Academy of Sciences, Institute of Oriental Manuscripts) English Not just Nagasaki : routes of book flows from early modern Japan to Russia in 18th and 19th centuries 長崎に限らない : 18~19世紀に近世日本からロシアへ渡る古書の諸経路について
11:35	<b>Marandjian, Karine</b> (Russian Academy of Sciences, Institute of Oriental Manuscripts) English The Sakhalin collection of the Institute of Oriental Manuscripts 東洋古文書研究所のサハリンコレクション
11:55	<b>Sasaki, Toshikazu</b> (Hokkaido University) and <b>Tanimoto, Akihisa</b> (Hokkaido University) Japanese コレクション形成史の可能性 : ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所蔵日本史料について Is the history of collection possible? : on Japanese sources at the Institute of Oriental Manuscripts, Russian Academy of Sciences
12:15	Lunch break
<b>Session 2</b> chair: Willy Vande Walle	
13:45	<b>Focseneanu, Anca</b> (University of Bucharest, Department of Japanese Language and Literature) English Japanese lexicographic resources in Romania : the case of the first Romanian-Japanese dictionary
14:05	<b>Gheorghe, Alexandra Marina</b> (University of Bucharest, The Japanese Language and

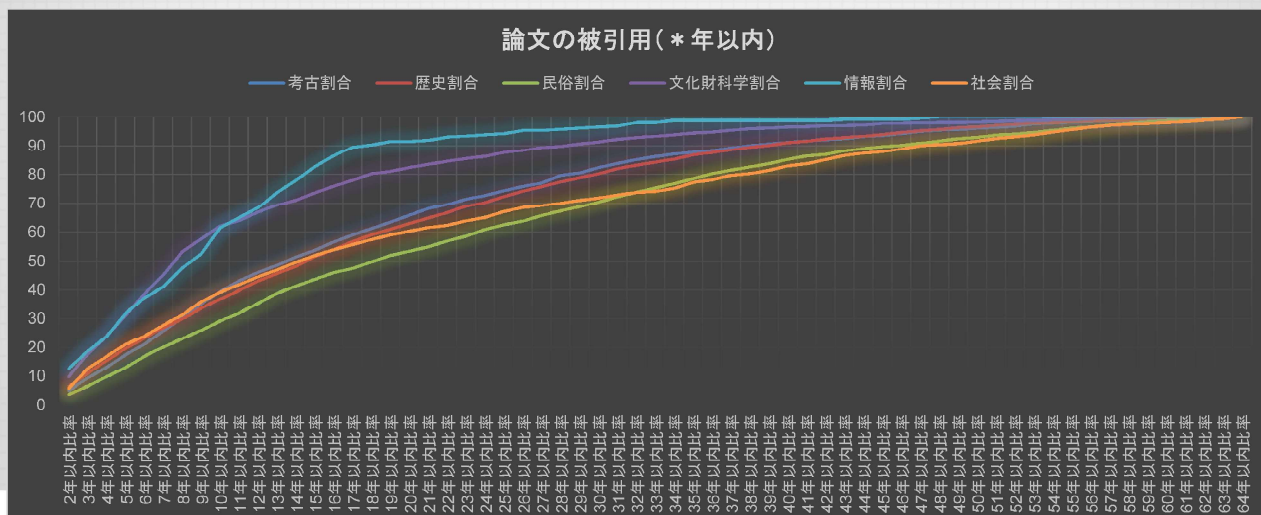
## 論文の被引用期間の長さ

- 人文・社会系論文が引用される期間は長い  
- ≡論文の「寿命」が長い

ある論文が何年前の論文を引用しているか(割合)  
(人間文化研究機構のリポジトリより  
論文350本、引用文献数14000での計測)



- (人間文化研究機構のリポジトリの現時点の集計によるかぎり)自然科学・情報学と、人文系論文では1.5倍ほど被引用のされ方が「遅い」



## 人間文化研究機構のとりくみ

- これらを踏まえたデータ収集
  - 研究者データベース等を介して
  - 書籍・単著論文の重みづけの検討
  - 日本語論文の計測(国際性と両にらみ)
- 質的な情報を解析し、可視的に見るような検討も実施(サイエンスマップ人文版(仮称)などによる、「機関の強み」の可視化)
- 学問の多様性の維持と、多様な学問の中での大学・大学共同利用機関法人の「世界の中での強み」を探る

ありがとうございました

